

この研究は、通常の診療で得られた画像データや過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

「病理診断を支援する標本を活用した Artificial Intelligence(AI)の診断補助システム開発と評価」に関する研究（新久喜総合病院と Medmain Inc.の共同研究）  
病理医が確定診断した病理標本をもとに深層学習を用いて、高精度解析を実現した病理画像解析 AI のシステム開発を行います。

#### 1. 研究の対象

2015年1月から2019年12月にかけて当該施設にて採取された病理標本（生検標本、細胞診標本、術中迅速標本、剖検標本その他を含む）

#### 2. 研究目的・方法

研究目的：AIによる高精度解析できる病理画像診断解析を開発する。

研究方法：1. 胃、大腸における様々な病変の網羅的解析を病理医による確定診断があるデータと、ないデータをそれぞれ深層学習により解析し、両社の比較検討から、確定診断のないデータを用い AI 解析、開発を行う。

2. 以下の機関と共同で研究します。

・ Medmain Inc.

（外部の研究機関には、標本と診断名のみ開示し個人が特定できない状態にして、情報を共有します。）

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病理医による診断がある病理標本画像データ、等

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：新久喜総合病院 病理診断科部長 中野 盛夫（電話:048-26-0033(代表)）

（2020年12月23日作成）